

# 「お話ビンゴ」のレシピ

## 〈 ねらい、目的 〉

単語は言えるけれど、文レベルでの会話がまだ十分でなく、ひらがなの読み書きができ始めた子を対象に、かるたの絵を見てどんな様子かを伝えて、カードの裏に書いてある文字を読んで、参加者全員でビンゴゲームをします。順番やビンゴゲームのルールを理解して、小グループでのゲームに参加することもできるようになります。

## 〈 材料 〉

- ・学研 子ども生活かるた（今回は絵札のみを使います）
- ・五十音の各文字ごとに、3語ずつその言葉で始まる単語を書いた表3種類（あ～た、ち～み、む～ん）
- ・お話ビンゴシート 2枚
- ・お話ビンゴのルールシート
- ・丸シール
- ・黒サインペン
- ・黒マジック
- ・両面テープ
- ・はさみ

## 〈 作り方 〉

- ①五十音シートを線に沿ってはさみで切って、両面テープで絵札の裏に貼ります。
- ②絵札の文字が隠れるように、丸シールを貼ります。
- ③使う絵札を9枚決めて、ビンゴシートに9文字書きます。  
\* この9枚の絵札と書いたビンゴシートはセットにしておきます。  
\* 同様にして、ビンゴシートを持ち帰ってコピーして、書く位置を変えて、同じ9種類の文字を書きます。一人ずつ、文字の位置が違う方が楽しめます。
- ④お話ビンゴのルールシートを持ち帰って、コピーしてからパウチしてください。

## 〈 使い方 〉

1人～6人位のグループ学習で使うと楽しくできます。一人の場合は、先生と対戦してしましょう。

- ①ルールブックを読んで、遊び方を伝えます。
- ②順番を決めます。（じゃんけん等）
- ③1番の人から順に、9枚の中から絵札を1枚選んで、何の絵が書いてあるか、話します。
- ④裏の字をみんなに見せて、読みます。
- ⑤他の人は、その字を自分のビンゴシートの中から探します。見つけたら、その字に丸をつけます。
- ⑥次の順番の人が、同様にカードの絵を見て話し、文字を読みます。
- ⑦丸が三つ並んだら、「ビンゴ!」と言います。
- ⑧ビンゴが2つできたら、勝ちです。
- ⑨勝った人にはみんなで、拍手をしましょう。

